allcinema

女は二度生まれる（1961）

メディア 映画
ジャンル ドラマ
製作国 日本
色彩 Color
時間 99分
初公開日 1961/07/28

【解説】
　富田常雄の小説『小えん日記』を、川島雄三が井手俊郎とともに脚色し監督。大映での初監督作品であり、川島の最高傑作の一つに挙げられる。川島が大映首脳陣を前に「若尾文子を女にしてみせる」と宣言したといわれる。
　芸者の小えんは男相手の商売を続ける毎日を送っていた。そんな彼女は、銭湯への行き帰りに出会う大学生の牧にときめいていた。矢島という遊び人と箱根へ行った帰り、小えんは初めて牧と話をするが、彼は大学を出て他の場所へ行ってしまうと言う。売春がばれて置屋が営業停止となってしまったため、小えんは銀座のバーで勤めることに。芸者時代に出会った筒井と再会し、小えんは彼の愛人になった。しかし筒井は病気で倒れ、そのまま亡くなってしまう。

【クレジット】
監督 川島雄三
企画 川崎治雄
原作 富田常雄
脚本 井手俊郎
　　川島雄三
撮影 村井博
美術 井上章
音楽 池野成
助監督 湯浅憲明
出演 若尾文子
　　藤巻潤
　　フランキー堺　Frankie Sakai
　　山村聡　So Yamamura
　　山茶花究
　　山岡久乃
　　倉田マユミ
　　村田知栄子
　　高野通子
　　江波杏子
　　紺野ユカ
　　山内敬子
　　仁木多鶴子
　　高見国一
　　菅原通済

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。　Copyright (C) 2026 Stingray. All Rights Reserved.

潮万太郎
中条静夫
八潮悠子
穂高のり子
花井弘子
平井岐代子
上田吉二郎

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。 Copyright (C) 2026 Stingray. All Rights Reserved.